

児童用 iPad データアップロード手順書

iPadOS をアップデートする前にお読みください。

児童用 iPad を動作させている基本となるソフトウェアを「**iPadOS**」と呼びます。「**iPadOS**」によって iPad の動作のすべてが管理されています。

iPad のメーカーである Apple 社では、年に 1 回もしくは必要に応じて数回程度「**iPadOS**」のアップデートを行います。

アップデートの目的は、iPad の動作の安定性向上やセキュリティ対策が主体となるため、児童用 iPad についても期間を決めてアップデートを行います。

アップデートを行う前には、万が一アップデート時にトラブルがあった場合に備えて、iPad 本体に保存している学習用のデータを取り出してしておくことができます。

個人所有の iPad の場合、パソコンに接続して iPad のデータを取り出すことができますが、貸与している児童用 iPad はセキュリティ対策が施されているため、パソコンに接続することができません。

そこで、この手順書では、児童用 iPad 本体に保存しているデータを、児童用 iPad で利用できる「**Google ドライブ**」に取り出す（アップロードする）方法を紹介しています。

「**Google ドライブ**」へのアップロードについては、さまざまな方法がありますが、授業で利用したデータであることから、この手順書では、**個人情報保護に重点をおいたアップロード手順のみ**を説明することといたします。

※ この手順書では児童用 iPad 本体に保存しているすべてのデータをアップロードすることはできません。

目 次

1	Google ドライブへのアップロードの概要	1
(1)	Google ドライブへアップロードできるデータ	1
(2)	アップロードの手順	2
(3)	アップロード時の注意事項	2
2	Google ドライブへのアップロード手順	3
(1)	アップロードの準備（Google ドライブにアップロード用フォルダーを作成）	3
(2)	Pages のデータファイルを Google ドライブにアップロード	5
(3)	Numbers のデータファイルを Google ドライブにアップロード	10
(4)	Keynote のデータファイルを Google ドライブにアップロード	12
(5)	写真・iMovie・Clips の写真・動画を Google ドライブにアップロード	15
(6)	GarageBand の曲（サウンドファイル）を Google ドライブにアップロード	17
	データアップロード作業 チェックシート	21

1 Google ドライブへのアップロードの概要

(1) Google ドライブへアップロードできるデータ

児童用 iPad 本体に保存されているデータは、Apple 社製のアプリで作成されたものに限られます。アップロードできるデータの概要は次表のとおりです。

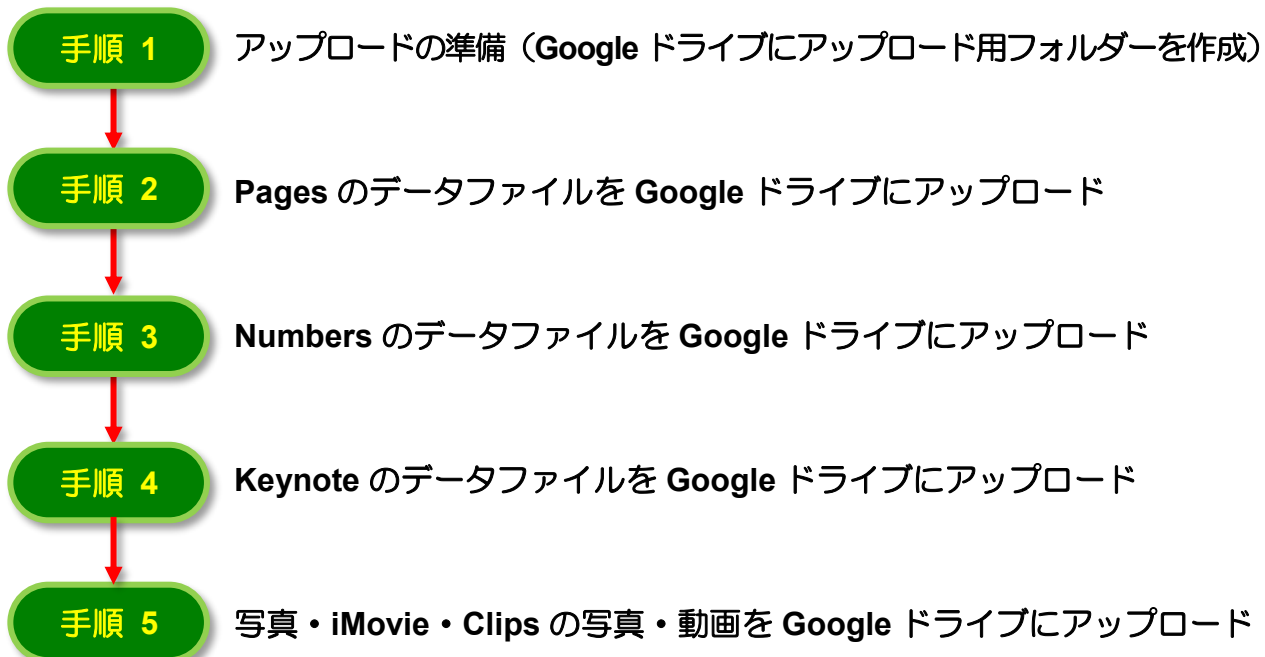
アプリ名	アイコン	アップロードの内容
Pages		児童用 iPad で「 Word 形式 」に変換し、Google ドライブへアップロード（保存）します。 「Word 形式」では完全に変換できない場合があります。
Numbers		児童用 iPad で「 Excel 形式 」に変換し、Google ドライブへアップロード（保存）します。 「Excel 形式」では完全に変換できない場合があります。
Keynote		児童用 iPad で「 PowerPoint 形式 」に変換し、Google ドライブへアップロード（保存）できます。 「PowerPoint 形式」では完全に変換できない場合があります。
写真		児童用 iPad 内に保存している写真は Google ドライブへアップロード（保存）します。
iMovie		児童用 iPad 内に保存している動画は Google ドライブへアップロード（保存）します。
Clips		児童用 iPad 内に保存している動画は Google ドライブへアップロード（保存）します。
GarageBand		児童用 iPad 内に保存しているプロジェクト（演奏編集）ファイルから曲（サウンドファイル）を作成し、Google ドライブへアップロード（保存）します。

※ アプリによっては、Google ドライブにまとめてアップロードする方法もありますが、個人情報保護の観点から、**データ（ファイル）ごとに確認しながら**アップロードしていく方法のみの説明となります。

(2) アップロードの手順

アップロードの手順の概要は、次のとおりです。

「手順 2」以降については、データが存在しないアプリについてはアップロードの操作は不要です。データが存在するアプリの手順のみアップロードを実行してください。



(3) アップロード時の注意事項

- データのアップロード作業を行うときには、iPad 本体が**電源に接続**されていることを確認してください。
- カメラで撮影した写真や動画のアップロードについては、**本人のみが写っているものに限定**してください。
※ iMovie や Clips で作成した動画も同様です。
- データのアップロード作業では、iPad から Google Workspace へと異なったシステム間でデータの受け渡しが行われるため、データのオリジナル状態を維持することが難しくなり、データによってはアップロードしたあとにレイアウトが崩れたり、再編集できなくなったりすることがあります。

2 Google ドライブへのアップロード手順

(1) アップロードの準備 (Google ドライブにアップロード用フォルダーを作成)

iPad 本体に保存されているデータを Google ドライブにアップロードするために、Google ドライブにアップロード用のフォルダーを作成してください。

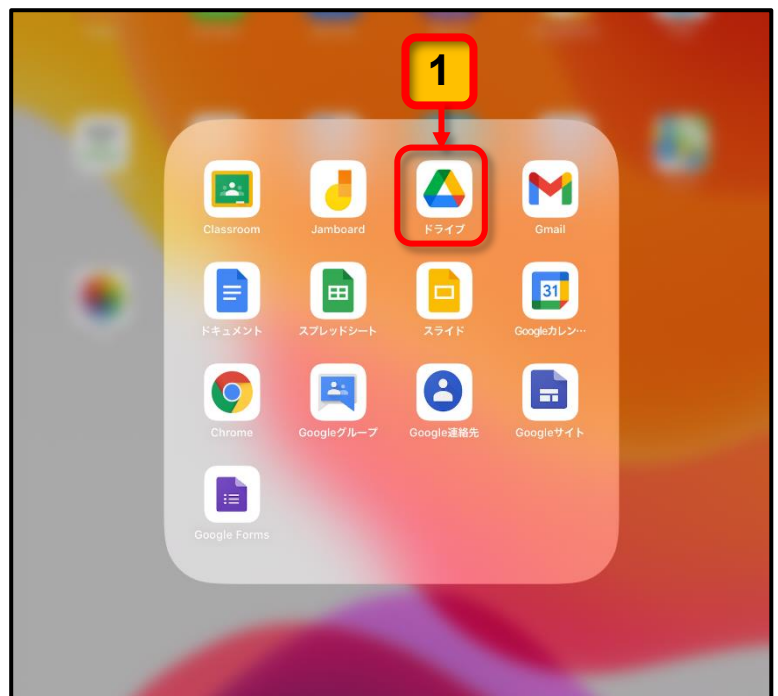
ここでは、児童の Google アカウントを「**s996103@chofucity.ed.jp**」、Google ドライブに作成するアップロード用のフォルダーの名前を「**iPadBackup**」としています。

アップロード用のフォルダーの作成手順は次のとおりです。

- 1 児童用 iPad の Google のフォルダーを開いて [ドライブ] をタップします。



ログインの操作を求められたら、児童の Google アカウントでログインしてください。



[ドライブ] の画面が表示されます。

- 2 画面の下部にある [ファイル] をタップします。



- 3 画面の下部にある [新規作成] をタップします。

【新規作成】のポップアップメニューが表示されます。

4 【フォルダ】をタップします。



新しいフォルダーを作成する画面が表示されます。

5 新しく作成するフォルダーの名前を入力します。
(ここでは、「iPadBackup」としています。)
フォルダー名は、自由に命名してもかまいません。

6 【作成】をタップします。



Google ドライブに「iPadBackup」という名前のフォルダーが作成されます。



ここまでの操作で、アップロード用のフォルダーの作成が完了します。

(2) Pages のデータファイルを Google ドライブにアップロード

Pages のデータファイルは、iPad で **Word** のファイル形式に変換して Google ドライブの「iPadBackup」フォルダーにアップロードします。



Pages のデータファイルを Google ドライブにアップロードする手順は次のとおりです。

1 アップロードしたい Pages のデータファイルを開きます。

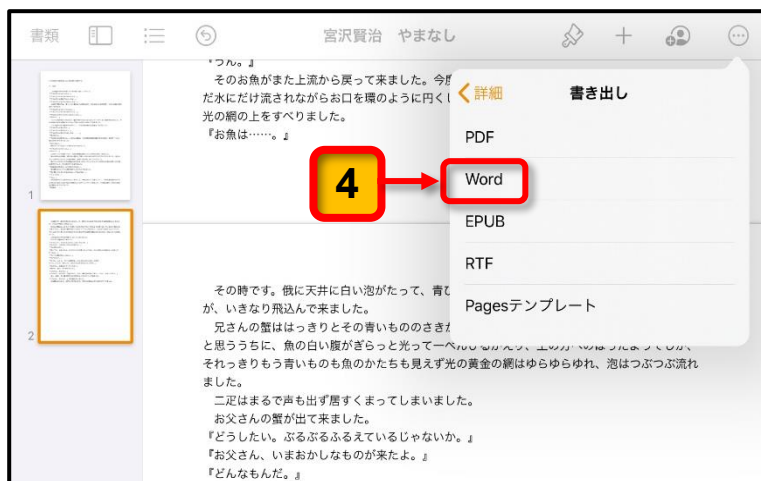
2 ⓘ をタップして [詳細] メニューを開きます。

3 [書き出し] をタップします。



【書き出し】のメニューが表示されます。

4 【Word】をタップします。



書き出す場所を指定する画面が表示されます。

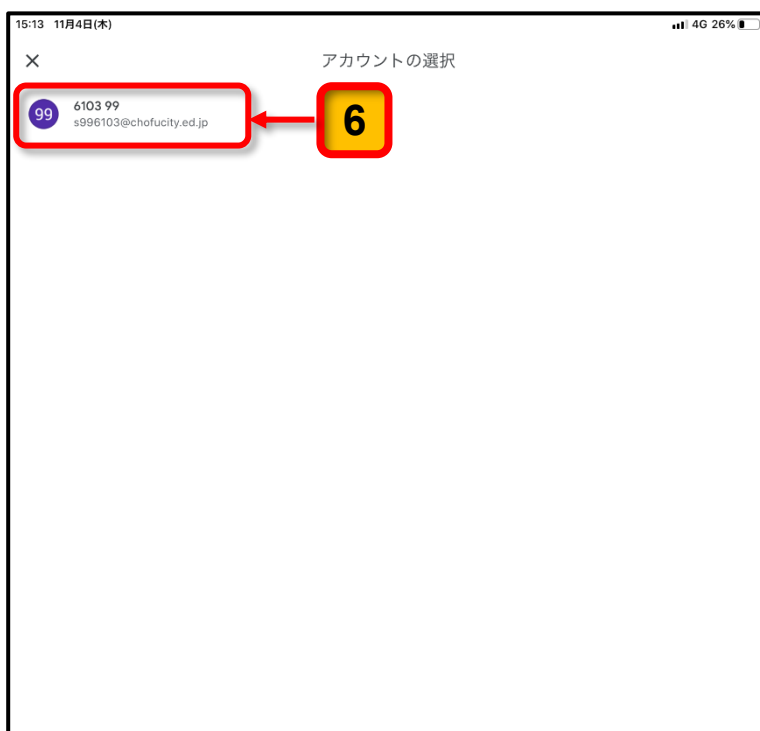
5 【ドライブ】をタップします。



アカウントの選択画面が表示されます。

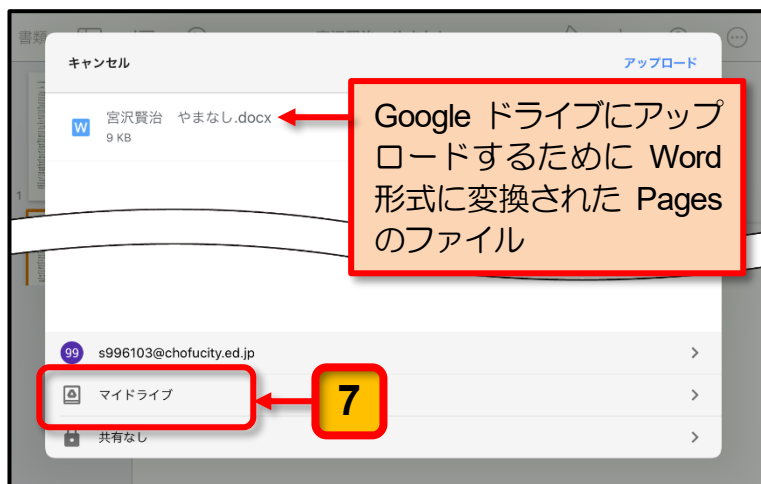
6 表示されている児童のアカウントをタップします。

児童のアカウントが表示されずに、ログインの画面が表示された場合は、画面の指示に従って児童用アカウントでログインしてください。



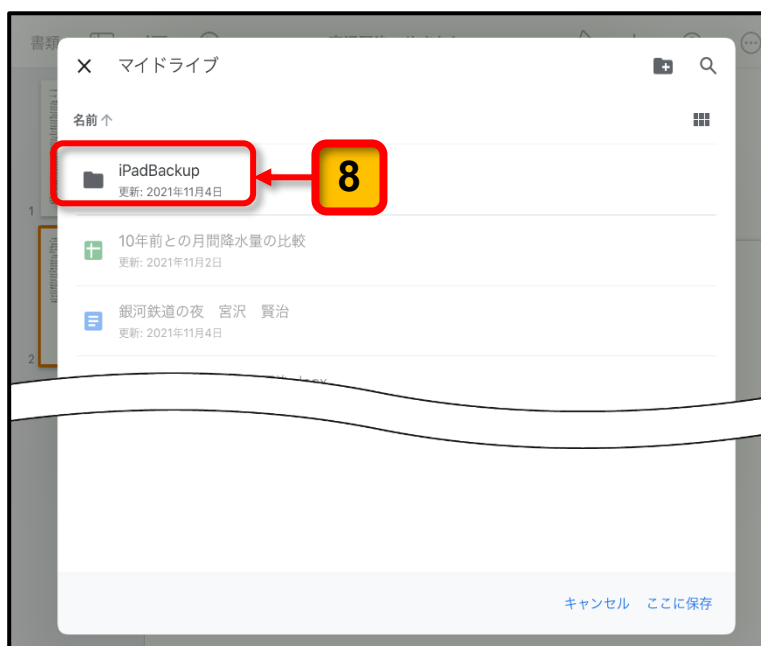
Google ドライブ内のアップロード先を指定する画面が表示されます。

7 [マイドライブ] をタップします。



マイドライブ内のフォルダーやファイルの一覧が表示されます。

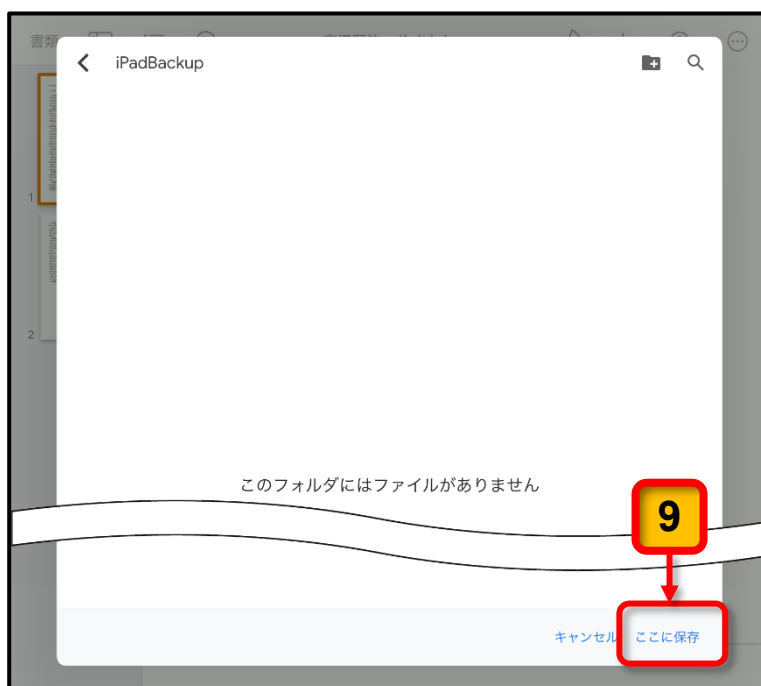
8 [iPadBackup] フォルダをタップします。



[iPadBackup] フォルダ内のフォルダーやファイルの一覧が表示されます。

まだ、なにも保存していないので、「このフォルダにはファイルがありません」と表示されています。

9 [ここに保存] をタップします。



「iPadBackup」フォルダーにアップロードするための画面が表示されます。

10 「アップロード」をタップします。



Word形式に変換されたPagesのデータファイルがGoogleドライブの「iPadBackup」フォルダーへアップロードされます。アップロードが完了すると、アップロード作業を開始する直前のPagesの画面にもどります。



ここまでの操作で、PagesのデータファイルをWord形式に変換してGoogleドライブの「iPadBackup」フォルダーにアップロードする作業は完了です。

● アップロードの確認

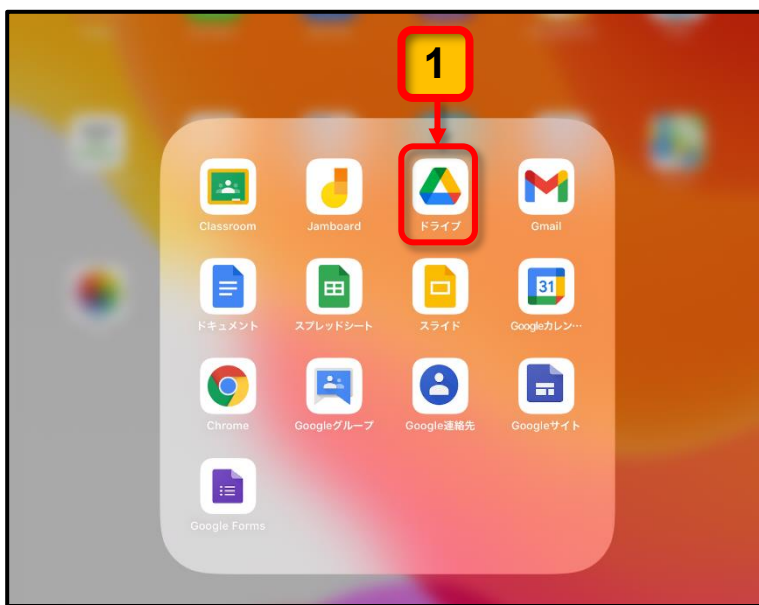
児童用 iPad を使用して、Google ドライブの [iPadBackup] フォルダーに **Word** 形式に変換した **Page** のデータファイルがアップロードされていることを確認してください。

Google ドライブの [iPadBackup] フォルダーへアップロードされているデータファイルを確認する手順は次のとおりです。

- 1 児童用 iPad の Google のフォルダーを開いて [ドライブ] をタップします。



ログインの操作を求められたら、児童の Google アカウントでログインしてください。



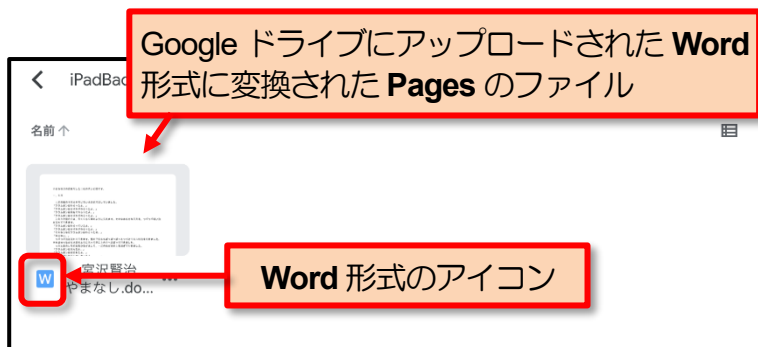
Google ドライブの [マイドライブ] の画面が表示されます。

- 2 [iPadBackup] フォルダーをタップします。



[iPadBackup] フォルダー内が一覧表示されます。

Word 形式に変換した **Page** のデータファイルがアップロードされていることを確認してください。



ここまでの操作で、Google ドライブの [iPadBackup] フォルダーへアップロードされているデータファイルを確認することができます。

(3) Numbers のデータファイルを Google ドライブにアップロード

Numbers のデータファイルは、iPad で **Excel** のファイル形式に変換して Google ドライブの「iPadBackup」フォルダーにアップロードします。

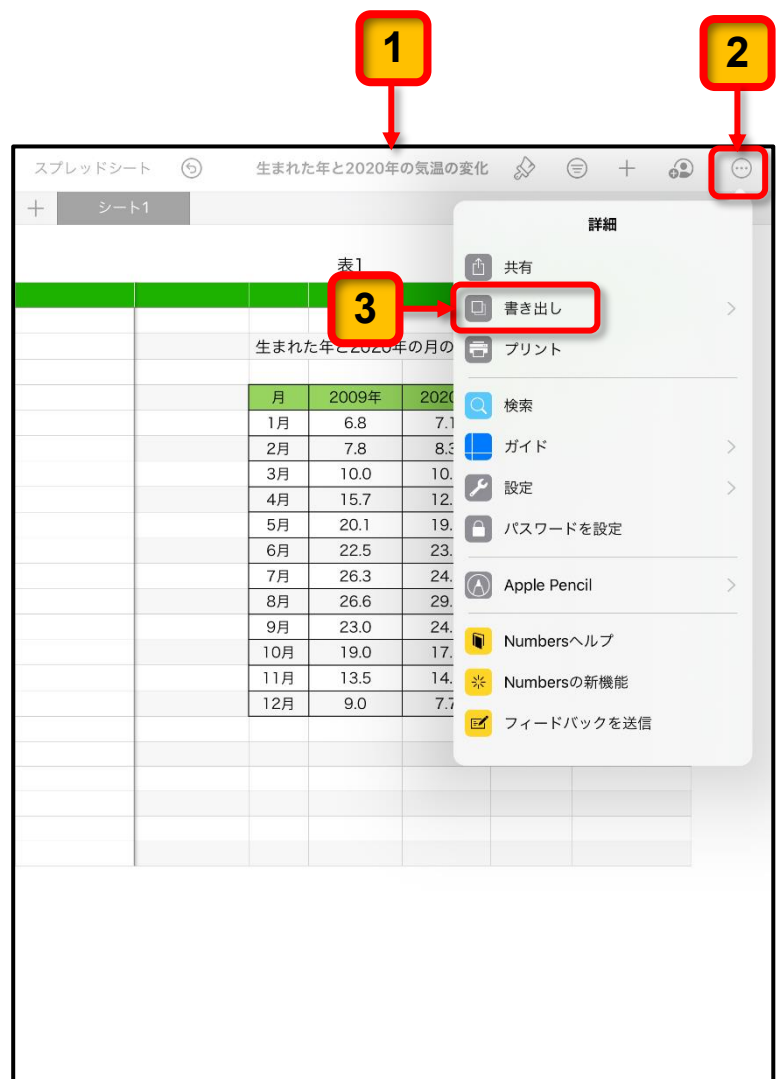


Numbers のデータファイルを Google ドライブにアップロードする手順は次のとおりです。

1 アップロードしたい Numbers のデータファイルを開きます。

2  をタップして [詳細] メニューを開きます。

3 [書き出し] をタップします。



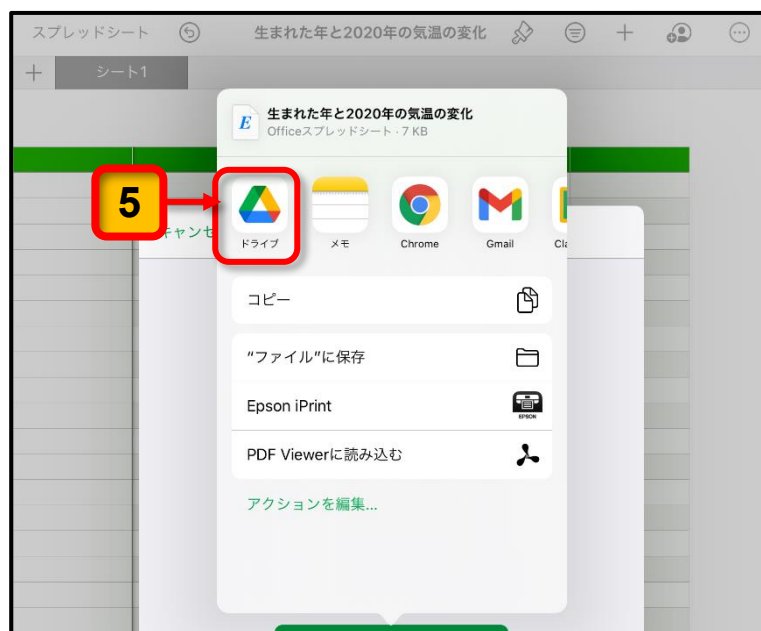
【書き出し】のメニューが表示されます。

4 [Excel] をタップします。



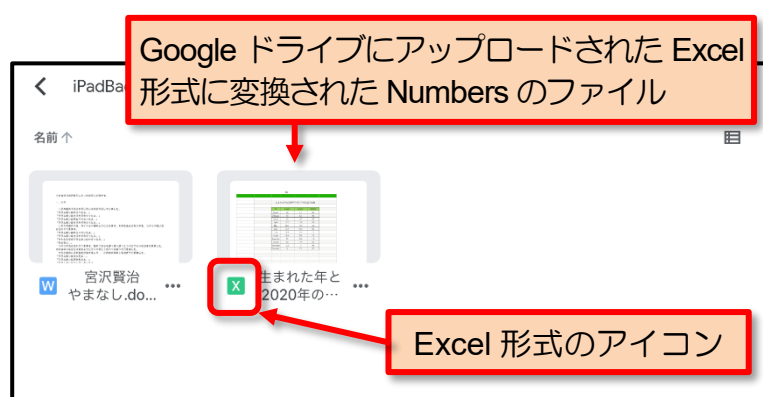
書き出す場所を指定する画面が表示されます。

5 [ドライブ] をタップします。



これ以降は、5 ページの「(2) Pages のデータファイルを Google ドライブにアップロード」の手順 **6** (6 ページ) 以降を参照して、Google ドライブの「iPadBackup」フォルダーにアップロードしてください。

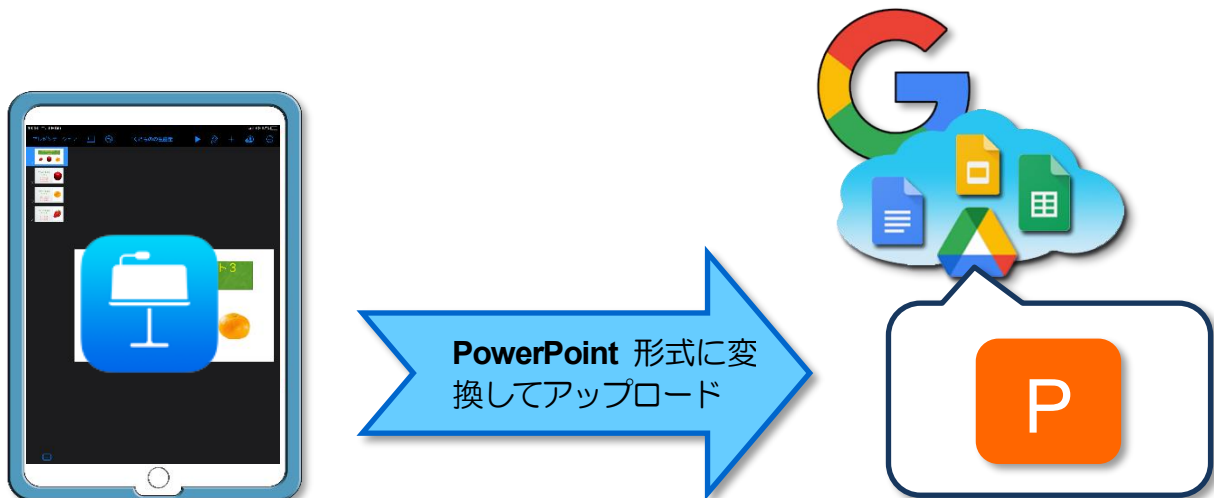
アップロードが完了したら、9 ページの「● アップロードの確認」を参考に **Numbers** のデータファイルが **Excel** のファイル形式に変換されて Google ドライブの「iPadBackup」フォルダーにアップロードされていることを確認してください。



ここまでの操作で、**Numbers** のデータファイルを **Excel** 形式に変換して Google ドライブの「iPadBackup」フォルダーにアップロードする作業と作業結果の確認が完了します。

(4) Keynote のデータファイルを Google ドライブにアップロード

Keynote のデータファイルは、iPad で **PowerPoint** のファイル形式に変換して Google ドライブの「**iPadBackup**」フォルダーにアップロードします。



Keynote のデータファイルを Google ドライブにアップロードする手順は次のとおりです。

1 アップロードしたい **Keynote** のデータファイルを開きます。

2  をタップして「詳細」メニューを開きます。

3 「書き出し」をタップします。



「書き出し」のメニューが表示されます。

4 「PowerPoint」をタップします。



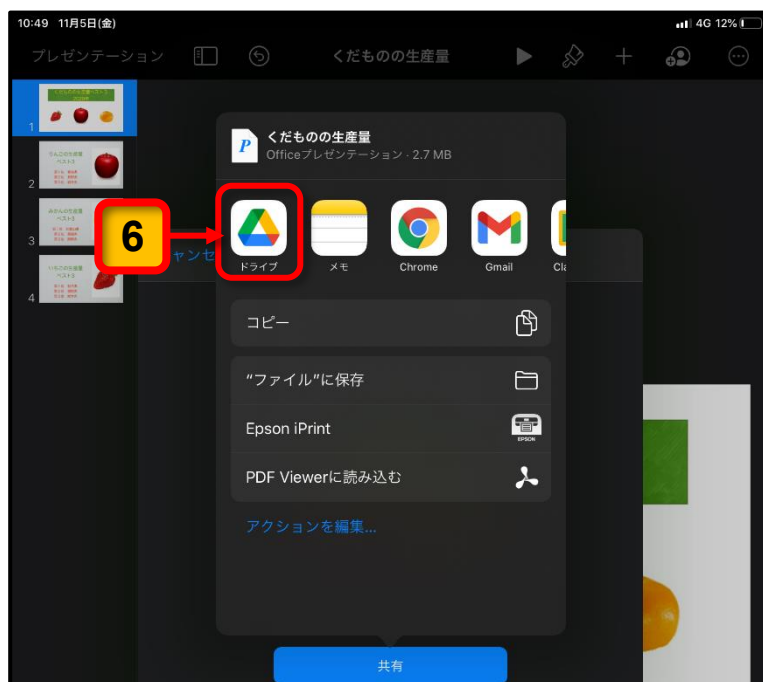
ファイル形式の変換にともなうメッセージが表示される場合があります。

5 メッセージが表示されたときは「続ける」をタップしてください。



書き出す場所を指定する画面が表示されます。

6 「ドライブ」をタップします。



これ以降は、5 ページの「(2) Pages のデータファイルを Google ドライブにアップロード」の手順 6 (6 ページ) 以降を参照して、Google ドライブの「iPadBackup」フォルダーにアップロードしてください。

アップロードが完了したら、9 ページ「● アップロードの確認」を参考に **Keynote** のデータファイルが **PowerPoint** のファイル形式に変換されて Google ドライブの「iPadBackup」フォルダーにアップロードされていることを確認してください。



ここまでの操作で、**Keynote** のデータファイルを **PowerPoint** 形式に変換して Google ドライブの「iPadBackup」フォルダーにアップロードする作業と作業結果の確認が完了します。

参考：書き出し時のファイル形式について

このガイドブックでは、データの互換性の観点から、**Microsoft Office** 形式に変換する方法で説明していますが、**Pages**, **Numbers**, **Keynote** には、ほかのファイル形式に変換して書き出すことができます。

参考までに、データのアップロードに利用できる各アプリで書き出せるファイル形式の概要を紹介しておきます。



- 1 PDF とは Portable Document Format (ポータブル・ドキュメント・フォーマット) の頭文字を取ったもので、文字や画像などを印刷時のレイアウトのまま保存したものです。この形式で書き出すと、その後の編集には PDF 編集用ソフトが必要となります。
- 2 EPUB とは電子書籍用のファイル形式です。書き出したファイルの取り扱いには電子書籍フォーマットの取り扱いに関する知識が必要となります。
- 3 CSV とは、Comma Separated Value の略で、入力されている数値や文字のみをカンマで区切った形で書き出します。枠線やデータのレイアウトなどは無視されます。

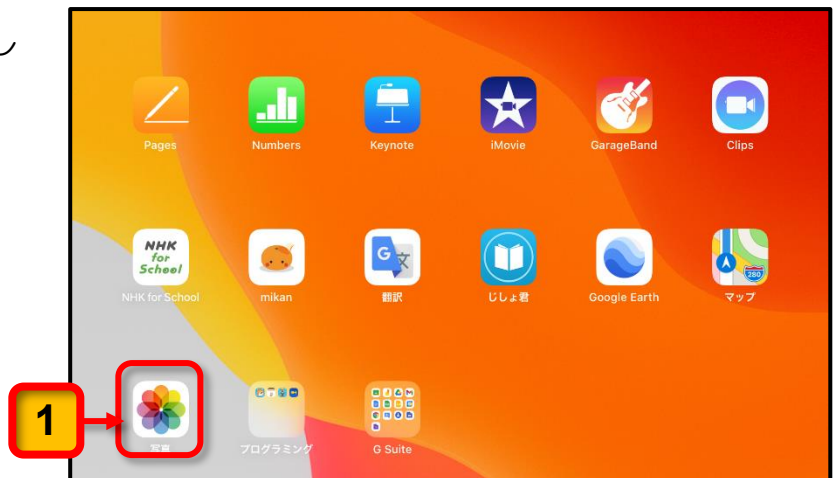
(5) 写真・iMovie・Clips の写真・動画を Google ドライブにアップロード

iPad 本体に保存されている「カメラで撮影した写真」、「iMovie で作成した動画」、「Clips で作成した動画」は、[写真] アプリから直接 Google ドライブにアップロードできます。

ほかの人が写っている写真や動画、個人情報が含まれている写真や動画はアップロードしないでください。

[写真] アプリに保存されている写真や動画を Google ドライブにアップロードする手順は次のとおりです。

- 1** [写真] アイコンをタップします。



iPad 本体に保存されている写真や動画が一覧表示されます。

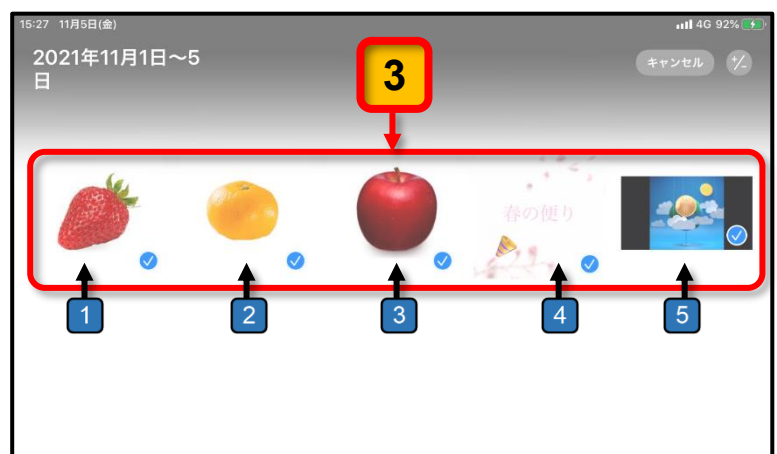
- 2** [選択] をタップします。



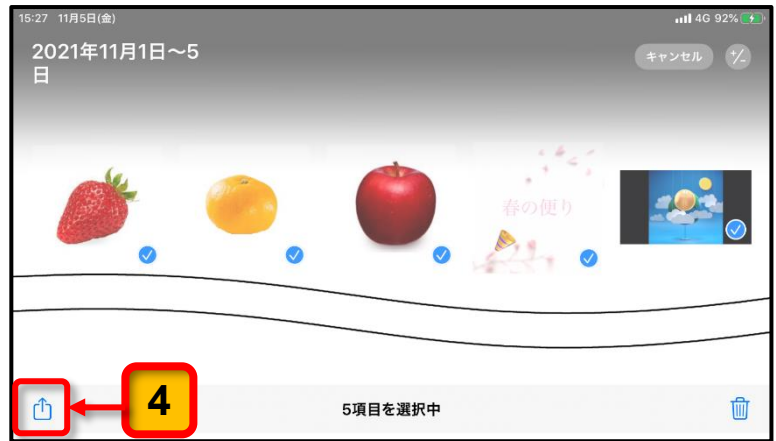
- 3** 写真や動画が選択できる状態となるので、アップロードしたい写真や動画をタップして選択します。

選択した写真や動画には「青いチェック」が付きます。

ここでは3つの写真 **1** **2** **3** と2つの動画 **4** **5** を選択しています。

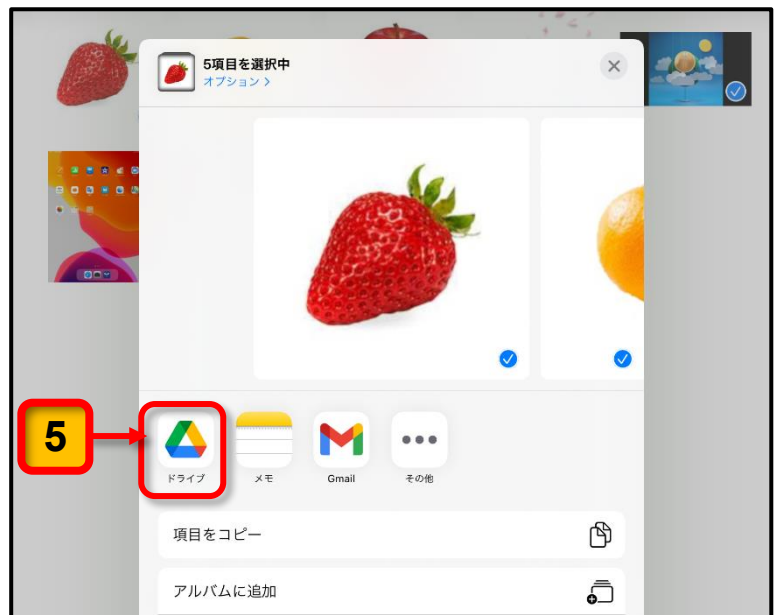


4 [アップロード] アイコンを
タップします。



アップロードする場所を指定
する画面が表示されます。

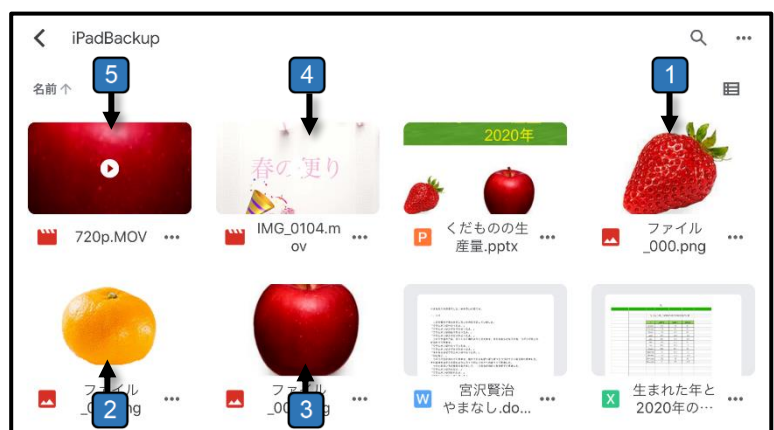
5 [ドライブ] をタップします。



これ以降は、5 ページの「(2) Pages のデータファイルを Google ドライブにアップロード」の手順 **6** (6 ページ) 以降を参照して、Google ドライブの「iPadBackup」フォルダーにアップロードしてください。

アップロードが完了したら、9 ページの「● アップロードの確認」を参考に、選択した写真や動画が Google ドライブの「iPadBackup」フォルダーにアップロードされていることを確認してください。

※システム間の移動で、写真や動画のサムネイル（縮小画像）が変わる場合があります。



例：Google ドライブにアップロードされた写真と動画

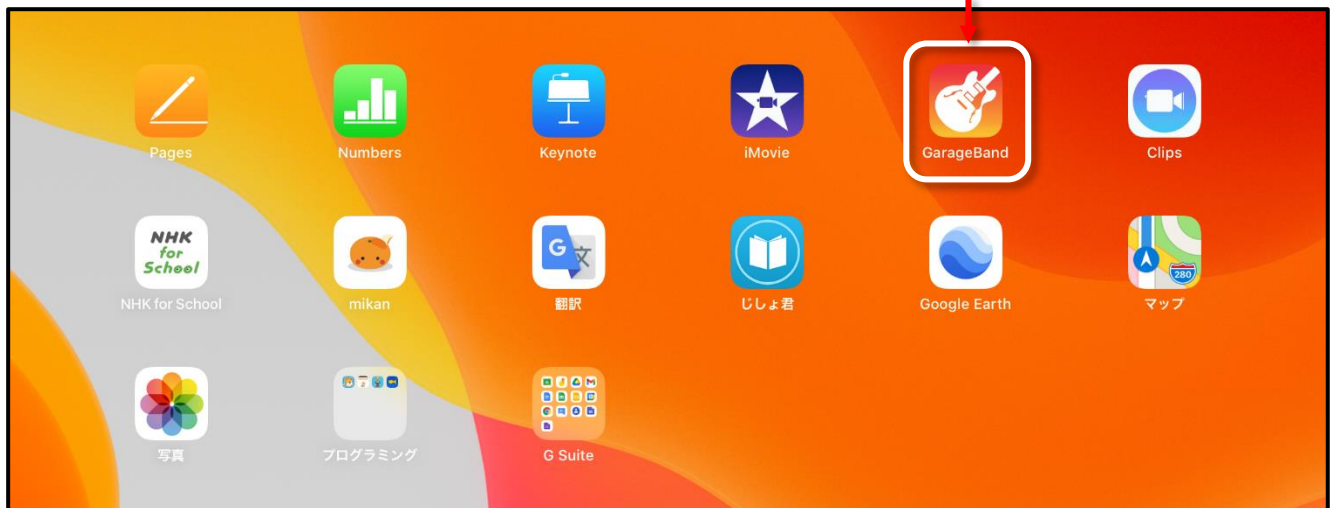
ここまでの操作で、iPad 本体に保存されている写真や動画を Google ドライブの「iPadBackup」フォルダーにアップロードする作業と作業結果の確認が完了します。

(6) GarageBand の曲（サウンドファイル）を Google ドライブにアップロード

【GarageBand】アプリで作成されたプロジェクト（演奏編集）ファイルから曲（サウンドファイル）を作成し、Google ドライブにアップロードする手順は次のとおりです。

※ アップロードするのは【GarageBand】のプロジェクト（演奏編集ファイル）から出力された曲（サウンドファイル）です。

1 【GarageBand】をタップします。

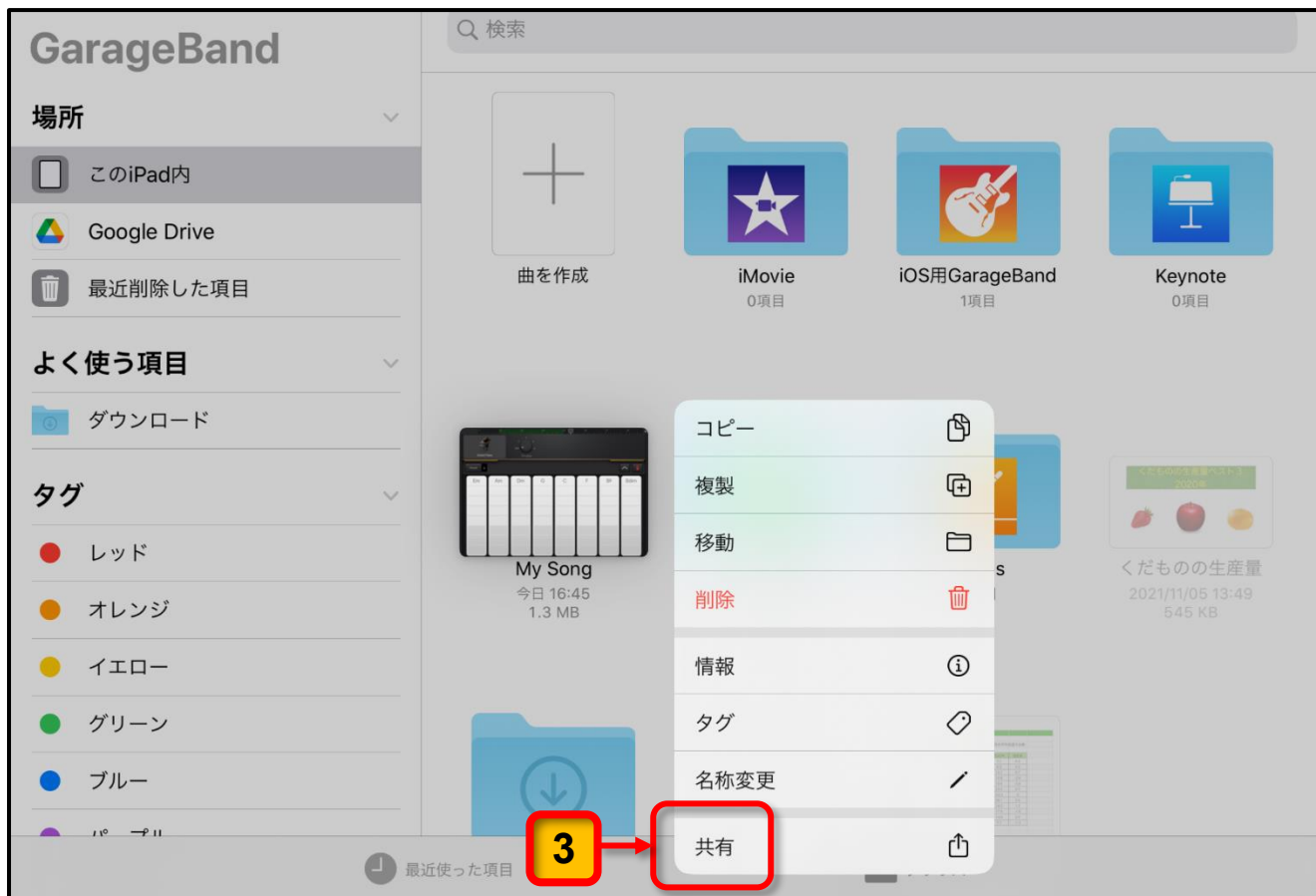


作成した GarageBand のプロジェクトが保存されている画面が表示されます。

2 サウンド（演奏）ファイルをアップロードしたいプロジェクトを“長押し”します。

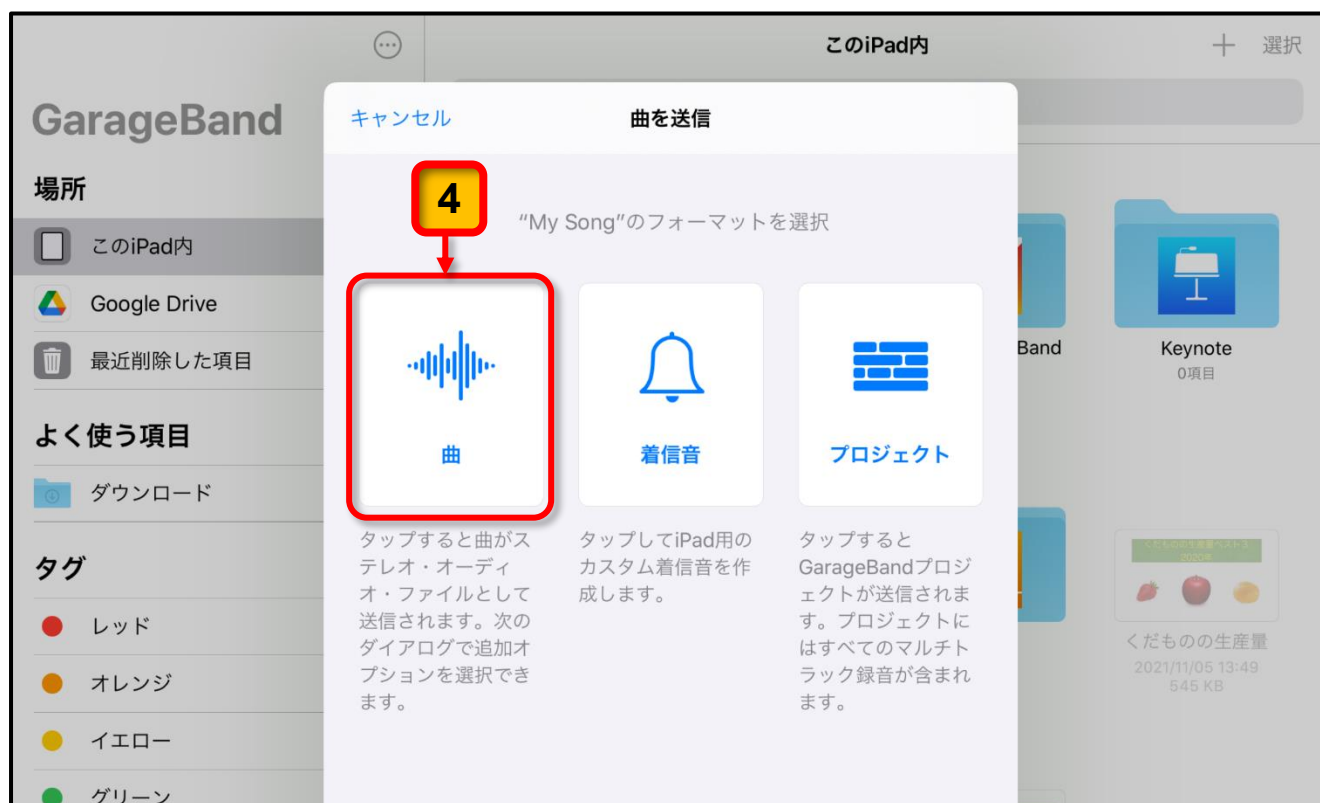


3 「共有」 をタップします。



曲（サウンドファイル）を送信するための画面が表示されます。

4 「曲」 をタップします。



「オーディオの品質」の選択や「自分の情報」を書き込む画面が表示されます。

5 特に変更の必要がなければ、「高音質」が選択された状態で「送信」をタップします。

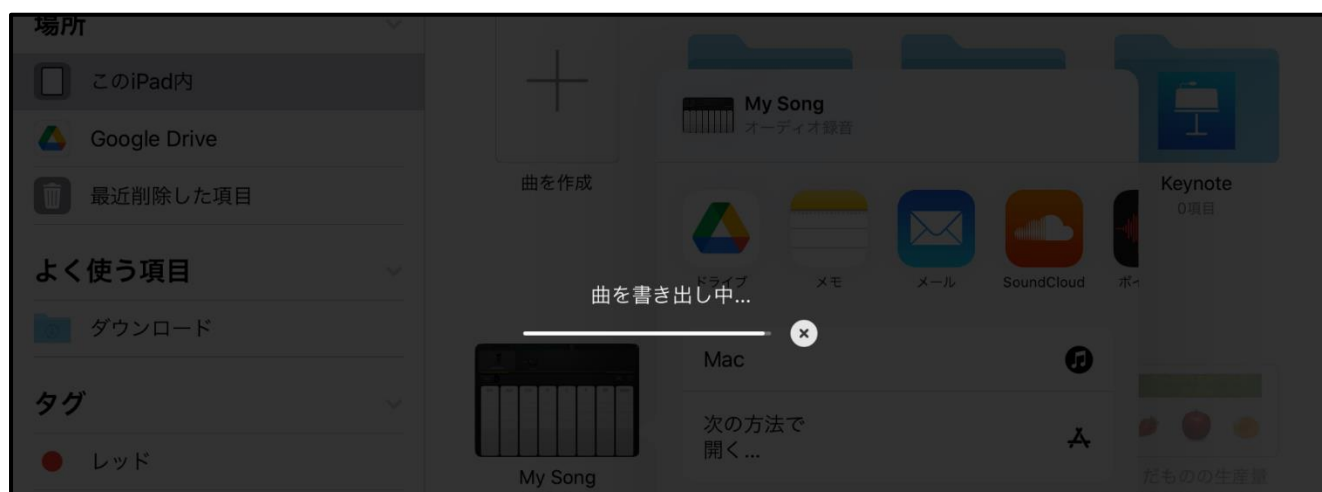


曲（サウンドファイル）を操作するメニューが表示されます。

6 「ドライブ」をタップします。



「曲の書き出し」が開始されます。



「曲の書き出し」が完了すると、アカウントの選択画面が表示されます。

7

表示されている児童のアカウントをタップします。

児童のアカウントが表示されずに、ログインの画面が表示された場合は、画面の指示に従って児童用アカウントでログインしてください。



これ以降は、5 ページの「(2) Pages のデータファイルを Google ドライブにアップロード」の手順 6 (7 ページ) 以降を参照して、Google ドライブの「iPadBackup」フォルダーにアップロードしてください。

アップロードが完了したら、9 ページの「● アップロードの確認」を参考に GrageBand の曲（サウンドファイル）が Google ドライブの「iPadBackup」フォルダーにアップロードされていることを確認してください。



ここまでの操作で、Google ドライブの [iPadBackup] フォルダーへアップロードされている曲（サウンドファイル）を確認することができます。

データアップロード作業 チェックシート

- 実施したデータのアップロードの作業の完了チェックに利用してください。

● データアップロードの事前準備

作業項目	完了チェック
Google ドライブにアップロード用フォルダーの作成 参考フォルダー名：「iPadBackup」	

● iPad 本体内のデータのアップロード

児童用 iPad 本体のデータを Google ドライブの [iPadBackup] フォルダーへアップロード	
作業項目	完了チェック
Pages で作成したデータファイル	
Numbers で作成したデータファイル	
Keynote で作成したデータファイル	
写真・iMovie・Clips の写真や動画	
GarageBand で作成した曲	